

令和3年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

学校教育目標 めざす生徒像	(1)幅広い教養を身に着け、確かな知識と技能の習得を目指し、真理の探究に積極的な意欲を持つ人間の育成					
	(2)責任感と正義感に富み、規律ある行動のできる人間の育成					
	(3)個性の発見と伸長に努め、主体的に進路を決定する能力を持つ人間の育成					
	(4)健康で明るく、情操豊かで創造力に富む人間の育成					
具体的目標 重点目標	(1)「千年桜計画」の推進（『環境教育』『公共性教育』『安全教育』の三本柱で、主体的に生き抜く力を育てる）					
	(2)魅力ある総合学科教育に向けた取組 (3) これからを生きる力の習得 (4) 心に響く生徒指導の充実					
	(5)進路指導の更なる充実 (6) 開かれた学校づくりの推進					
達成度					A	達成
					B	概ね達成
					C	やや不十分
					D	不十分
自 己 評 価						学校関係者 評 価
分野	評価項目	主な取組み・達成状況			達成度	
学校運営	本校の教育環境	○入学者減少に伴う教員数の削減があったが、職員全体が協力しながら業務に取り組み、丁寧な指導を行うことができた。また、北村山高校魅力化プロジェクトとして、在校生の学校生活の満足度を上げるための様々な工夫や改革を実践するとともに、魅力の外部発信に力を入れ、成果を上げることができた。感染防止対策のため、制限がある中での活動も工夫しながら実施することができている。 ○地域考究の授業をはじめ、ジモト大学の参加、ヨット実習、ボランティア活動など地域と関わって協働活動を実施することができた。			B	A
	本校教員の熱心度				B	
	本校教育への満足度				B	
	地域への貢献度				A	
学習指導	授業のわかりやすさ	○基礎学力と学習習慣の定着を目指すとともに、体験活動も取り入れ、総合学科の特色を生かすことができた。理解度を高めるために電子黒板やICT機器を活用した授業を積極的に行うとともに、支援が必要な生徒に対しての授業対応等の授業研究も行い、情報を共有した。 ○学校設定科目「考究実践」では、設定したテーマに沿った探究活動を、地域自治体や商店街などの多大な協力を得て課題解決に向けた学びを実践できた。			B	B
	成績評価の適切度				B	
	学校設定教科「地域考究」における探究学習の充実度				B	
生活指導	校則規律の順守	○毎朝、挨拶や遅刻、服装など地道な指導を継続している。交通安全や登下校のマナー指導についてはコロナ禍のためPTA生活指導部と一緒に行うことはできなかったが、教職員一丸となって取り組むことができた。 ○いじめ等の未然防止や早期発見向け、日常的に丁寧な観察や、生徒が相談しやすい環境体制を作り、多くの生徒と関わりを持つことができた。			B	B
	生活指導の徹底度				B	
	生徒の理解度				B	
進路指導	進路指導の充実度	○今年度はコロナ感染症対策万全のもと、企業訪問やインターンシップ事業、外部講師による講話を実現することができた。各種講話や進路別集会等は、行政、企業の地域人材派遣等の協力を得て実施することができた。就職希望者は12月で内定率100%を達成し、進学希望者も全員合格することができた。 ○総合的な探究の時間のやり方や実施については各年次と連携を密にし、アイデアを出し合いながら進めることができた。			B	B
	進路情報の伝達				B	
	進路目標達成度				B	
部活動等	指導体制の充実度	○感染防止対策を講じながら各部が可能な範囲で活動を行い、各部の活躍が学校全体に活力を与えている。今年度も地区新人大会や文化部のコンクール等で感染拡大防止のために中止となるものもあったが男子ハンドボール部インターハイ1回戦突破、スキー部全員インターハイ出場という成績を収めた。 ○学校行事については、延期や縮小を余儀なくされるものもあったが、野球応援・学園祭・クラスマッチ等で生徒たち自身ができることは何かを考え、実施することで、成功に導いた。			B	B
	部活動実績				A	
	学校行事				B	
PTA等	学校情報の周知度	○今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で変更や縮小、廃止などがあり当初の予定を実施することができなかった。保護者と職員の街頭指導は5月に1回実施することができた。 ○今年度は「花のかけはし運動」に親子地域貢献活動として参加し、6/13に花の定植(46名)、10/24(30名)に撤収作業のボランティア活動を行った。生徒の健康管理としては保健課と協力しながら感染症予防の徹底や消毒等に取り組んだ。			B	B
	PTA活動				B	
	清掃活動の徹底度				B	
	生徒の健康管理				B	
総括	○今年度は、北村山高校魅力化プロジェクトとして魅力の外部発信に力を入れたが、来年度には目に見える結果が出せるよう継続して取り組むとともに、保護者、地域、中学校等への情報発信を適切な時期に行うだけでなく、意見を頂きながら交流していきたい。そして、今いる生徒が充実した高校生活を送れるよう校内の体制を再構築していく。 ○地域との協働活動を通し、学校設定教科「地域考究」において充実した学習を実施することができた。来年度以降も授業やボランティア活動を通して地域貢献できる生徒を育成していきたい。 ○コロナ禍で制限ある中での活動であったが、生徒が自主的に工夫した学校行事を作り上げたり、SMSを活用した情報発信をしたり今できることを探しながら積極的に活動することができた。今後も生徒の自主的な活動を支え、生徒、保護者、地域が協働的に活動できるような体制作りを進めていきたい。					

